

工場全体の節電対策強化

2023年2月27日
株式会社サンテック

●HTTの取り組み



へらす(H)

工場内最大電力
使用量を
デマンド監視装置
にてピークカット
する仕組みを構築

つくる(T)

本社工場屋上全面
に太陽光パネルを
設置

ためる(T)

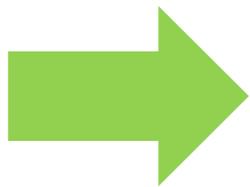
発電した電力は
蓄電池に溜まる
仕組みを構築

●節電に取り組むきっかけ

2011年に東日本大震災が発生、電力が十分に供給されなくなる



元々、設備を動かすための電気料金が大きな負担となっていた



節電や自家発電を考える

●助成金を活用した設備導入



2012年【東京都振興公社】
自家発電設備導入費用助成事業
を利用し太陽光パネル及び
蓄電池、デマンド監視装置を
導入

(※対象は蓄電池、デマンド監視装置)



発電した電力を工場で使用する
他、蓄電池にためて非常時の
BCP対策にもなる

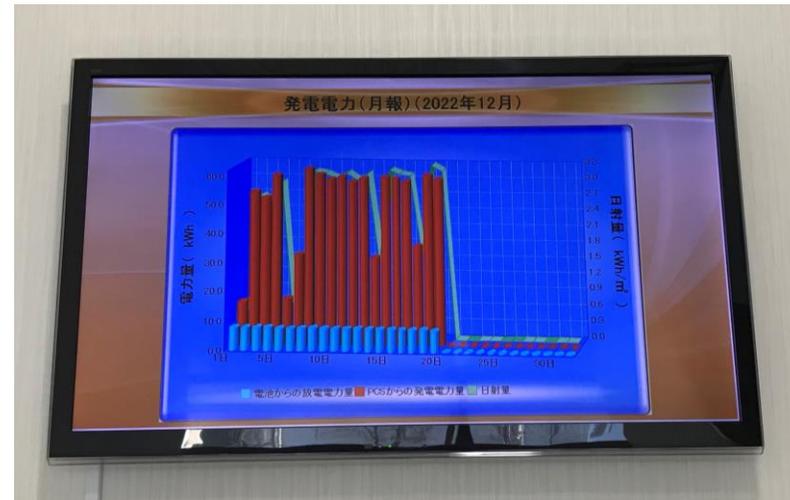
●節電への取り組み

見える化

- ・ 玄関エントランスに大型モニター画面で発電・蓄電・Co2削減量を随時監視測定している。

太陽光パネル総発電量
(2022年7月~9月)
約7800kWh

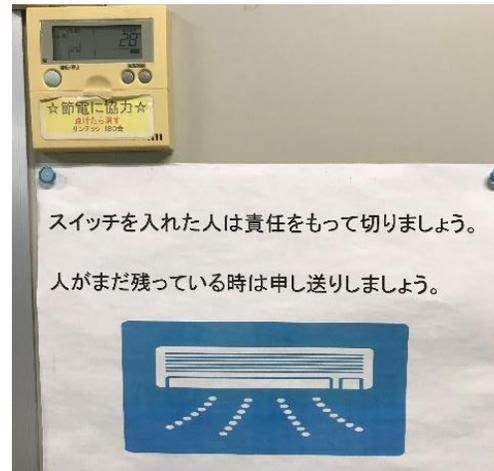
約650世帯
1日あたりの電力使用量



●節電への取り組み

節電対策強化（ポスターの掲示）

- ・ 節電実施中
- ・ エアコンの消し忘れ防止
- ・ 消灯確認
- ・ 冬のHTTポスター



社内の掲示や
モニターによる
「見える化」



朝礼や昼礼で
「繰り返し聞かせる」

「見える化」のみだと
完全に浸透させるには
不十分

「繰り返し聞かせる」
事をプラス

従業員からの意見

●個々で出来る事

- ・照明の消し忘れを無くす
- ・明るい時間帯は照明を消す
- ・PCモニターの明るさ調整

●製造現場

- ・段取り良く効率良く
- ・品質事故無く

製造工場であるサンテックと致しましては、

電力不足 + 電気代高騰

⇒会社全体でさらに、節電の意識を持つことが
必須になる

電力が足りない場合⇒生産が出来なくなる

⇒お客様に迷惑がかかる

やりたい事は沢山あっても
ネックになるのが費用の捻出

少ない人数で生産し、一人が色々な
役割を果たしながら働いているのが現状

補助金を申請するにも関わる人員がない

●できることから始める



弊社が少しづつやってきた事 例えば・・・

- ・ 蛍光灯⇒LED照明
- ・ 点灯する照明を減らす（間引き）
- ・ 共同の場所の自動消灯
- ・ エアコン買換え 1台～ 消費電力 大⇒小へ
- ・ クールビズ、ウォームビズ

● できることから始める



従業員を巻き込みながら一人一人の意識を変えて
進めて行く事も重要

会社でやっている事が家庭でも出来ると分かって
もらい従業員一人一人が家庭に持ち帰り
取り組みの輪を広げて行く事、
継続していく事が大事